



山田こうじです!

2022年8月21日

NO.285

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

核兵器廃絶へ緊急行動を！ 2022年原水爆禁止世界大会

被爆者の生きていくうちに核兵器の廃絶を！

被爆77年目となる今年、原水爆禁止世界大会は、3年ぶりに広島で開催されました。

被爆者の平均年齢は84.53歳と初めて84歳を上回り、生存している被爆者数は11万8935人と、初めて12万人を下回り、高齢化が進み「生きていくうちに核兵器をなくしてほしい」との被爆者の訴えを受け止め、被爆の実相を大きく国内外に発信し、核兵器全面禁止・廃絶、核兵器禁止条約に署名・批准する日本政府の実現が強く求められています。



ウクライナ・ロシアからも発言

ウクライナの代表は「『ウクライナは核兵器を捨てたから攻撃された。』という主張は違う。核兵器を保有すれば核戦争に巻き込まれる危険性が高くなる」と訴え、NATOの拡大とヨーロッパへの米国のミサイル防衛システム配備を脅威と感じたロシアが新たな軍拡での対抗。それに対し、ウクライナが核不拡散を見直すとの脅しが、軍事的対立をエスカレートさせている。無責任な政治家や死の商人は、核脅迫を使い利益を上っていると指摘されました。そして「戦争マシーン」を止めよ。今すぐ行動を起こし、大声で真実を語り欺瞞的な敵のイメージに対してではなく、核軍国主義の政治・経済システムに対して責任を問い、平和的方法で戦争に抵抗し、全ての戦争をやめさせ平和構築を！」と呼びかけられました。

ロシアの代表からは、ザポロジエ原発が事実上のロシア軍の基地となっ

て誰も攻撃出来ない、原子力の軍事利用と平和利用の技術には区別はなく危険だと断じ、「被爆者とともに、核兵器も原発もない平和で公正な世界を」と訴えられました。ウクライナ侵攻の最初の数週間で、120万以上のロシア市民が戦争に反対する請願書に署名したが、その後、全てのロシア独立系メディアが閉鎖・国営テレビは戦争のプロパガンダに、戦争批判を禁止する新法制定され、違反者は刑務所へ。欧州人権裁判所の判決は施行されず・SNSはブロックされ・20歳から60歳の男性は、学校教育の3倍の給料で「特別軍事作戦」に参加する契約を結ぶよう勧誘・他国のパートナーと協力している非政府組織の代表の市民権は、はく奪される等、状況は激変している」と報告されました。

存在自体が非人道的

対立する国は敵だと。敵を作ることで、国内での社会的統合ができると考えています。しかし、日本、ウクライナ、ロシアや他国に住む私たちは敵同士？私たちは、皆、地球という惑星に住む隣人です。地球を守るため、手を取り合って行動しよう！と呼びかけられました。

7歳の時、広島国民学校で被ばくをした、児玉三智子さんは、「ものすごい光、あつという間に木造校舎の天井は落ち、窓ガラスが鋭利に割れ、飛び散った」と被爆の瞬間の恐怖と、帰宅途中の地獄の光景を訴えられました。そして、かろうじて生き残った被爆者は、原因不明の病で次々亡くなり、悩み決断して生み育てた娘もがんで亡くした経験を語り、「核兵器の存在自体が非人道的です。核抑止力ではなく相互信頼に基づく安全保障を」と呼びかけられました。

世界大会に参加している私自身も今後どうなるかわからないとも言われていました。最後にロシアと欧米諸国の政治家は、政治的に

まいごおき 三田じゅんじです！

世界大会のメイン大会は広島と長崎を交互に開催され、2020年以降、コロナで開催出来ず、2019年の大会は長崎でしたから、広島での大会は2018年以来です。広島での大会では、8月6日の「広島中原爆死若者慰霊式・平和祈念式」に毎回、平和記念公園内の峠三吉詩碑の近くのモニターテレビを見ながら式典に参加していました。今年も例年より広い範囲で平和公園への入場が制限され、峠三吉詩碑周辺も入れず、モニターテレビもなく式典御様子はわかりませんでした。午前8時15分の鐘の音で、黙とうを捧げました。

午前9時に入場規制が解かれ、右京原水協事務局の高橋真由美さんと、「峠三吉の詩碑」、佐々木貞子さんをはじめ原爆で亡くなった多くの子供の霊を慰める、「原爆の子の像」に折鶴を捧げました。

